

特定領域研究「フラストレーションが創る新しい物性」

第4回トピカルミーティング「フラストレーションとカイラリティ」 2009年7月3日～4日

7月3日(金)

時刻	タイトル	講演者	頁番号	座長
13:00-13:05	はじめに	川村光 (阪大理)		
13:05-13:40	フラストレート系のカイラル秩序	川村光 (阪大理)	4	小山晋之
13:40-14:00	YBa ₂ Cu ₃ O ₇ と関連複合系超伝導セラミックスのグレイン間秩序化過程	萩原亮 (京都工芸繊維大)	5	
14:00-14:15	YBCO超伝導セラミックスのカイラルガラス相における線形・非線形抵抗	出口博之 (九工大工)	6	
14:15-14:35	フラストレートした異方的ジョセフソン接合配列におけるスメクティック磁束ストライプとそのスライディング	吉野元 (阪大理)	7	
14:35-14:50	カイラルGLモデルの相転移	大久保毅 (阪大理)	8	
14:50-15:10	Coffee Break ポスター準備			
15:10-17:00	ポスター発表			
17:00-17:20	Coffee Break ポスター撤去			
17:20-17:50	フラストレートした格子上的スピンの新奇な秩序とカイラリティ	中辻知 (東大物性研)	-	利根川孝
17:50-18:05	二次元三角格子反強磁性体NiGa ₂ S ₄ におけるZ ₂ ポルテックス転移の可能性	山口博則 (阪大極限)	9	
18:05-18:20	S=5/2 擬二次元三角格子反強磁性体Rb ₂ Mn(MoO ₄) ₃ における逐次相転移とカイラリティ	石井梨恵子 (東大物性研)	10	
18:20-18:40	三角格子多体交換模型におけるカイラル・ネマティック相	桃井勉 (理研)	11	
18:40-18:55	異方的三角格子ハイゼンベルグ模型におけるスピン及びカイラリティの緩和時間の特異性	三澤貴宏 (東大物理)	12	
18:55-19:10	3本鎖スピントラップのカイラリティ	坂井徹 (原研/SPring-8)	-	
19:10-19:30	休憩			
19:30-21:30	夕食、懇親会			

7月4日(土)

時刻	タイトル	講演者	頁番号	座長
7:30-9:00	朝食			
9:00-9:30	磁性強誘電体MnWO ₆ のスピнкаイラリティ制御	有馬孝尚 (東北大多元研)	13	萩原政幸
9:30-9:50	RMn ₂ O ₅ の電気分極を作るカイラリティの解釈と制御	野田幸男 (東北大多元研)	14	
9:50-10:10	非共鳴円偏光X線回折によるスピнкаイラリティの観測	佐賀山基 (東北大多元研)	15	
10:10-10:25	三角格子反強磁性体CuCrO ₂ における磁場誘起スピントラップ転移	木村健太 (阪大基礎工)	16	
10:25-10:40	擬1次元マルチフェロイクスの磁気構造と光吸収についての理論	佐藤正寛 (理研)	17	
10:40-10:55	Coffee Break			
10:55-11:25	量子的にもつれたスピニアイスにおけるカイラリティー、四極子、異常ホール効果	小野田繁樹 (理研)	18	久保健
11:25-11:40	Pr系パイロクロア型磁性体におけるカイラル・四極子相関	田中洋一 (理研)	19	
11:40-12:00	スピнкаイラリティー自由度の解放による重い電子形成機構 - カゴメ格子上ハバードモデルの解析から -	宇田川将文 (東大工)	20	
12:00-12:20	スカラーカイラリティと量子磁性体における熱Hall効果	桂法称 (理研)	21	
12:20-13:30	昼食(チェックアウト)			
13:30-14:00	カイラリティ測定からみた金属スピングラスの臨界現象	谷口年史 (阪大理)	22	網代芳民
14:00-14:20	導電性三角格子反強磁性体PdCrO ₂ の異常Hall効果と磁性	高津浩 (京大理)	23	
14:20-14:35	おわりに	川村光 (阪大理)		